

平成 27 年度 RISH 電波科学計算機実験(KDK)シンポジウム
(第 312 回生存圏シンポジウム)
プログラム (Ver. 2)

日時： 平成 28 年 2 月 25 日 (木) , 26 日 (金)

場所： 京都大学 宇治キャンパス 木質ホール 3 階

2 月 25 日 木曜日

14:45 – 14:50 開会の辞

14:50 – 15:10 三宅洋平、船木裕司、西野真木

月縦孔プラズマ静電環境に関する大規模粒子シミュレーション

15:10 – 15:30 田中高史

磁気圏物理学における基礎体系の再考

15:30 – 15:50 小路真史

地球内部磁気圏における電磁イオンサイクロトロン波動とプラズマの相互作用

15:50 – 16:10 海老原祐輔、田中高史

MHD シミュレーションによるサブストームの再現実験

(休憩)

16:20 – 16:40 久保田結子、大村善治

放射線帯電子の EMIC トリガード放射との共鳴による大気圏降り込み現象の解析

16:40 – 17:00 藤田 茂、藤井郁子、榎田祐里

GIC 観測データを基にした GIC の推定

17:00 – 17:20 近藤光志

シアフローと磁気リコネクション

17:20 – 17:40 菊池 崇、海老原祐輔、田中高史、橋本久美子、富澤一郎

グローバル MHD シミュレーションが再現した磁気圏圧縮時の非圧縮性電離圏の振舞い

17:40 – 18:00 鬼頭沙希、臼井英之、沼波政倫、ブロック型適合格子細分化法フレームワークの

Sugarscape シミュレーションへの応用

18:00 – 20:00 **懇親会**

2月26日 金曜日

09:00 – 09:20 木倉佳祐、三宅洋平、臼井英之、中島 浩

メニーコアプロセッサ向け高効率プラズマ粒子計算手法の研究

09:20 – 09:40 蔡 東生

Coherent Structure and Karman Vortex Street in Magnetosphere

09:40 – 10:00 中村 雅夫

磁気リコネクションで発生するホール磁場構造の考察

10:00 – 10:20 淵田泰介、近藤光志

非対称自発的高速磁気リコネクションにおける拡散領域の構造変化

10:20 – 10:25

次期 KDK システムについて

10:25 – 12:00 ポスターセッション

ポスター発表 (2月26日 10:25 – 12:00)

(ポスターは 25 日午後から掲示できます。ボードの大きさは 180 cm(横)×90 cm(縦)です。)

1. 村中崇信、星 賢人、小嶋浩嗣

超小型イオンスラスタを利用したイオンビーム中和機構の数値解析

2. 今村 優佑、藤野貴康、益田克己

MHD 技術を利用した再突入プラズマ流れの能動的制御に関する 3 次元電磁流体シミュレーション

3. 谷邊耕太、臼井英之、三宅洋平

人工衛星搭載イオンエンジン中和器の地上実験に関するプラズマ数値シミュレーション

4. 長崎 陽、船木一幸、中村武恒、山川 宏

磁気プラズマセイル搭載用高温超伝導コイルシステムの最適化

5. 星 賢人、小嶋浩嗣、山川 宏

PIC シミュレーションを用いた帯電セイルテザーの推力解析

6. 疋島 充、加藤 雄人、小嶋 浩嗣

計算機実験によるコーラス放射の励起および WPIA 擬似計測への適用

7. 中山洋平, Y. Ebihara, S. Ohtani, M. Gkioulidou, K. Takahashi, L. Kistler and T. Tanaka

Void structure of O⁺ ion observed by the Van Allen Probes in the inner magnetosphere

8. 辻 浩季、海老原祐輔、大村善治、田中高史

惑星間空間衝撃波到来時における内部磁気圏高エネルギー粒子のダイナミクス

9. 中川宏紀、臼井英之、松本正晴、沼波政倫

ブロック型適合格子細分化法を用いたマルチグリッド法ポアソンソルバーの開発

10. 清水 徹

高速磁気再結合過程の 3 次元不安定性 -電流方向に開放境界条件を適用した場合-